



第5回アジアビルメンテナンス大会報告書

The 5th Congress of Asia Building Maintenance Association



2015年9月15日（火）～16日（水）

北海道・札幌市

公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会

■大会概要■

1. 大会テーマ 『人材』

2. 大会スケジュール

9月15日(火) 会場：札幌グランドホテル

15:00～17:00 アジア連盟理事会

18:00～20:00 歓迎レセプション

9月16日(水) 会場：札幌コンベンションセンター

09:30～12:30 各国発表会

14:30 出発 市内バス観光

18:30～20:00 夕食会(サッポロビール園)

3. 登録者数 8ヶ国・地域の協会 計273名

日本	126	シンガポール	3
韓国	63	インドネシア	7
上海	38	ベトナム	3
台湾	31	モンゴル	2

■大会報告■

2015年9月15-16日、アジア地域のビルメンテナンス協会が組織するアジアビルメンテナンス連盟(ABMA)主催の「第5回アジアビルメンテナンス大会」が、北海道の札幌市において、「ビルメンヒューマンフェア'15in北海道」にあわせて開催された。

※ ※ ※ ※ ※

アジアビルメンテナンス大会は、アジア地域のビルメンテナンス関係者が情報交流して親睦を深めるもので、アジア地域のビルメンテナンス協会が組織する「アジアビルメンテナンス連盟」(ABMA)が主催する。今大会は全国協会の主管で行われた。大会には海外7カ国から150人あまりが来日し、国内登録者120人と合わせ、270人が参加し、人材育成に対する取り組みなどについて意見交換した。

アジアビルメンテナンス連盟は、2006年10月に韓国で開催された「第16回世界ビルメンテナンス大会」をきっかけに設立され、アジア地域のビルメンテナンス業界発展に向けた活動を展開している。現在は日本、韓国、台湾、上海、シンガポール、ベトナム、インドネシア、モンゴルの8カ国・地域のビルメンテナンス協会が加盟している。会長は、日本の狩野

伸彌氏（現・全国協会名誉会長）が初代を務めた。その後、韓国、台湾、上海と交代し、2014年6月からは日本の一戸隆男全国協会会長が務めている。2007年11月に千葉市で開催されたビルメンヒューマンフェアに合わせて第1回大会を開き、2009年5月に韓国で第2回大会、2011年5月に台湾で第3回大会（東日本大震災のため中止）、2014年6月に中国・上海で第4回大会を開いてきた。

今回の日本での開催は8年ぶり2回目となる。テーマは「人材」で、持続可能な企業経営における重要な経営資源である“ひと”に焦点を当てた。

※ ※ ※ ※ ※

大会に先立って、参加8協会によるアジア連盟理事会が、札幌グランドホテルで開催され、日本からは、一戸会長、本多、原田、梶山、鴻 各副会長、狩野名誉会長、興膳専務理事、堀口常務理事が出席した。

理事会では、アジア連盟会長として、日本の一戸会長が議長を務め、各国の自己紹介を兼ねた挨拶の後、第6代会長の選任について審議された結果、満場一致で、韓国の宋 文鉉（ソン・ムンヒュン）氏が次期会長に選出された。



（左写真）議長を務める一戸会長

（右写真）次期会長に選出された韓国の宋 文鉉（ソン・ムンヒュン）氏

※ ※ ※ ※ ※

理事会に引き続き、「歓迎レセプション」がビルメンヒューマンフェアの懇親会を兼ねて、札幌グランドホテルで開催された。アナウンス、壇上の発言などは日本語、英語、韓国語、中国語の逐次通訳で行われた。

主催者を代表して一戸隆男会長があいさつに立ち「この大会が創意と情熱、未来へ新たな一歩というテーマのとおり、業界にとって明るい未来につながるものと信じている。今宵は北の大地札幌の夜を満喫していただき、国内外の新しい交流の輪が広がることを祈念している」と述べた。

アジア連盟の次期会長に選任されたばかりの宋文鉉会長は、「2017年に韓国で会いましょう」と呼びかけた。



(左写真) 主催者挨拶を述べる一戸会長

(右写真) 参加国を代表して挨拶する韓国の宋文鉉(ソン・ムンヒョン)会長



(左写真) 歓迎レセプションのアトラクション

(右写真) 大盛況の歓迎レセプションの様子

※ ※ ※ ※ ※

大会2日目の9月16日(水)には、メインプログラムとして、「人材」をテーマとした各国発表会が、ヒューマンフェアの会場である「札幌コンベンションセンター」で開催された。

発表会では、各国から人材育成に対する取り組みなどが報告され、活発に意見交換した。発表などは4カ国語の同時通訳でスムーズに進行した。

発表会の冒頭、一戸会長は「大会のテーマは『人材』です。私自身、ビルメンメンテナンス業を生業とする一人の経営者ですが、企業経営にあたって最も大事にしているものは『ヒト』です。国や地域によって生活習慣の違いはありますが、それぞれの国や地域が抱える課題や悩み、挑戦を各国から報告していただき、皆で共有し、ともに考えていきましょう」と開会を宣言した。

日本からは、全国ビルメンメンテナンス協会理事の村田茂行技能検定委員長が「外国人技能実習生受け入れと技能検定複数等級化」について報告した。平成26年度の実習生受け入れ総数

は16万7,000人あまりで、国別割合は中国が59.7%でトップ、以下、ベトナムが20.3%、フィリピンが7.6%、インドネシアが7.3%、タイが2.9%、その他が2.2%であるとしたうえで、今後10年間で受け入れ数は3倍に増えるだろうとの見通しを明らかにした。

韓国の代表、金東範氏は、生産性、効率性、サービス品質向上の一環として“低コスト高効率”のために人材管理の抜本的向上を開始する必要があると指摘し、中核的人材の育成が必要なることを強調した。



(左写真) 全国ビルメンテナンス協会理事の村田茂行技能検定委員長
(右写真) 韓国の代表、金 東範 氏

台湾の代表、何宗禧氏は、不動産管理が薄い利益を得るための値下げ合戦に陥っているほか、従業員の高齢化が深刻化している状況を説明した。そのうえで不動産管理業が付加価値的な利益を開拓し、一般従業員に還元する必要があるとの考えを示した。

上海の代表、翁国強会長は、業界を高度化させるためには人的資源を高度化させて人材で業界を強化する戦略の実施が最重要課題になると述べ、地道な実践で形成された中核能力を大切にしながら、時代の精神とニーズに合った競争力の構築に努力すべきだと指摘した。



(左写真) 台湾協会 何 宗禧 事務局長
(右写真) 上海協会 翁 国強 会長

シンガポール代表のミルトン会長も各国と同様、人材不足とりわけ優秀な技術者の確保が困難であると訴えた。

各国とも人材不足が共通の悩みと言えるが、ただ1国、世界4位の人口を抱えるインドネシアのトミー・ハラジャナ氏は、今後の生産年齢（17～64歳）の労働者の増加を「人口のボーナス」と表現し、アドバンテージではあるが、最大の問題は他の国同様、人を引きつける魅力ある業とすること、適正な従業員の確保・定着、生産性の向上などを課題に挙げた。



(左写真) シンガポール協会 ミルトン会長

(右写真) インドネシア協会 トミー・ハラジャナ事務局長

ベトナム代表のグエン・タン・フン副会長は、9月に協会設立大会を開催したことを報告、そして今後の関連法律制定や管理基準等の策定に際し、日本はじめ各国に協力を呼びかけた。

これらを踏まえて議論したほか、モンゴル、ベトナム、インドネシアの3カ国が日本による技能実習生受け入れを求める要望書を一戸会長に提出した。続いて、モンゴル協会のトムルオチル会長から、感謝の意を込めてモンゴル民俗衣装が一戸会長に贈られ、それを試着した一戸会長の姿に場内から拍手が起こった。



(左写真) ベトナム協会 グエン・タン・フン副会長

(右写真) モンゴル協会 トムルオチル会長と牧原副会長

続いて、来年4月に日本・東京で開催される第21回世界ビルメンテナンス大会の参加が案内された。

冒頭、場内スクリーンに大会会場などを紹介するプロモーションビデオが放映された後、日本では3回目となる今大会は、「『文化を紡ぐ』～豊かな暮らしを演出するビルメンテナンス業」をテーマに、世界16カ国の協会の斯業人が集い、情報交換と懇親を深める唯一の国際大会であると、大会の意義を伝えアジア各国にとって近隣の日本での大会への参加を促し、東京での再会を呼びかけた。

この後、一戸会長から参加各国に感謝の盾が贈られ、壇上で全員の記念撮影が行われた。

最後に、アジア連盟会長の交代式が行われ、前日の理事会で6代目会長に選任された韓国の宋文鉉氏が抱負を述べるとともに、第6回大会を2017年5月か6月に韓国のソウルで開催する計画であることを報告し、発表会は滞りなく終了した。

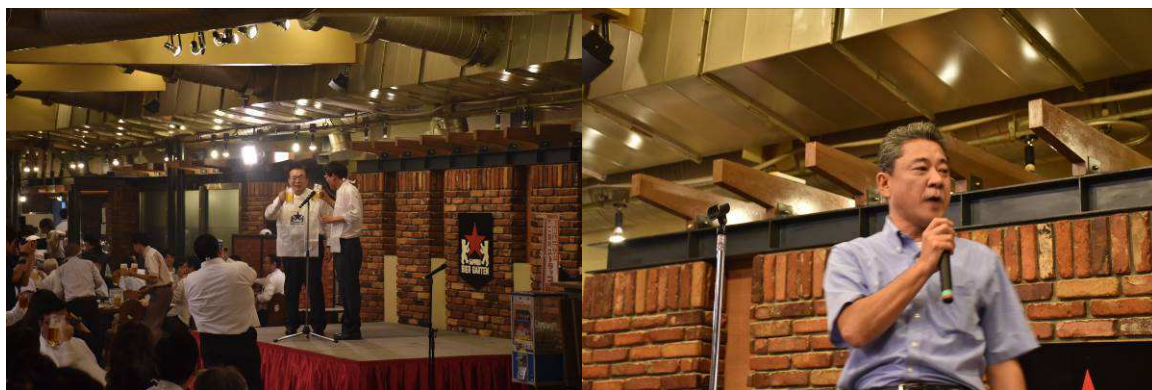


(左写真) 壇上に勢揃いする各国会長

(右写真) アジア連盟旗が日本から韓国へ

最後のプログラムとなった夕食会は、「サッポロビール園」で開催され、各国代表団がジンギスカン鍋を愉しんだ。

そして、全国ビルメンテナンス協会の世界大会実行委員長を務める大竹清治理事が閉会の辞を述べ、来年4月の東京大会での再会を誓い、第5回のアジア大会は成功裡に幕を閉じた。



(左写真) 乾杯をする一戸会長と宋会長

(右写真) 世界大会への参加を呼びかける大竹実行委員長

【一戸会長の開会挨拶】



今大会のテーマは、「人材」です。

私自身、ビルメンテナンスを生業（なりわい）とする一人の経営者ですが、企業経営にあたって、最も大事にしているものは「ヒト」であります。

特に、我々アジアの社会は

「お金」では動きません。

「モノ」でも動きません。

「ヒト」と「ヒト」のつながりで、政治も経済も文化も動いていくのです。

そして、我々、ビルメンテナンス業界は、人々が利用する公共の建物の管理という大切なお仕事をお預かりし、清潔で、安心、安全な建築物の環境の維持発展に貢献するという重大な使命を背負っており、それを実行するのが、経営者であり、現場の従業員であり、まさに「ヒト」なのであります。

「ヒト」には感情があります。

喜びがあります。悲しみがあります。

今日の発表会では、そんな「ヒト」にまつわる「課題」や「悩み」あるいは「挑戦」を各国からご報告いただき、肌の色や、言葉も違いますが、皆で共有し、共に考えていきましょう。

ここに「第5回アジアビルメンテナンス大会」の開会を宣言致します。

2015年9月16日

アジアビルメンテナンス連盟 会長

公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会 会長

一戸 隆男

【参考資料・発表会次第】



The 5th Congress of Asia Building Maintenance Association

第5回アジアビルメンテナンス大会

2015年9月16日（水）9：30～12：30 札幌コンベンションセンター

September 16th, 2015 in Sapporo Convention Center, Japan

次第 Agenda

Main Theme “Human Resources” 大会テーマ：「人材」

1. 一戸会長挨拶 address by President Ichinohe as host
2. 各国報告会 Report by each ABMA members
3. 質疑応答 question and answer session
4. 第21回世界大会（2016年4月東京大会）のご案内
Information of World Congress 2016 in Tokyo
5. 参加国への感謝状贈呈
Certificate of Appreciation presented by President Ichinohe
6. 会長交代式 Induction for the new President
7. 新会長挨拶 Speech by the new President
8. 第6回大会の告知（新会長） the presentation of the 6th Congress

以上